

PICK UP CONVENTION

ピックアップコンベンション

## 第13回日本蛋白質科学会年会



年会長 河田 康志  
(鳥取大学大学院 工学研究科 教授)

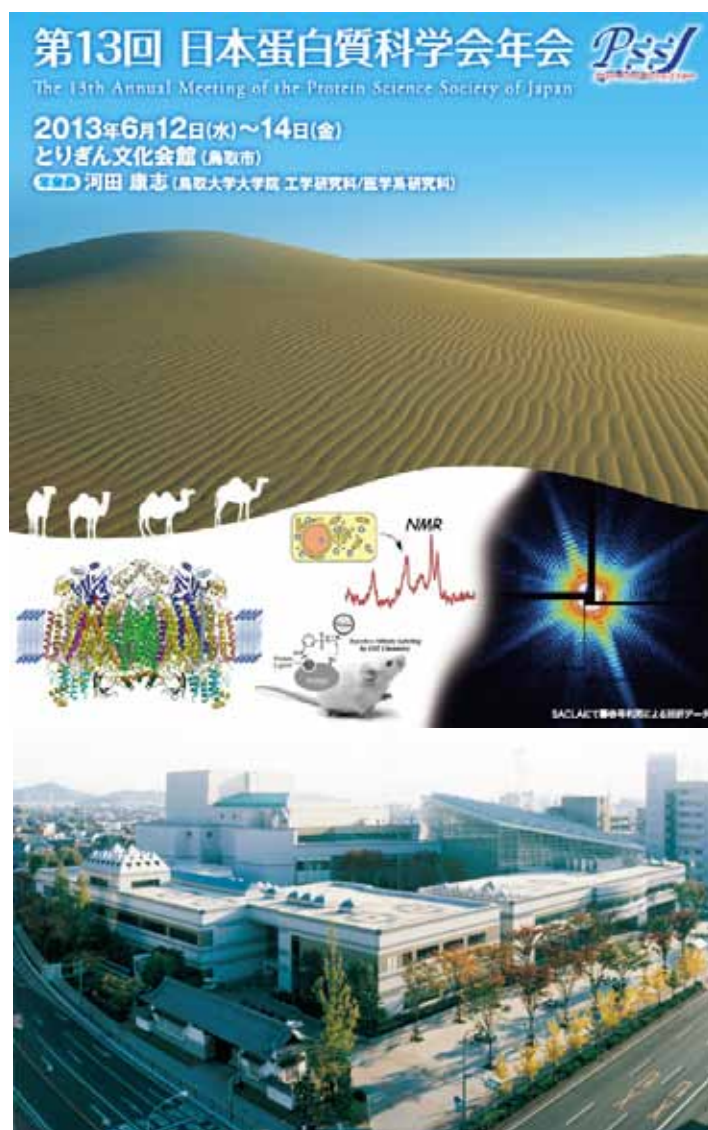
《開催日》平成25年6月12日(水)～14日(金)

《会場》とりぎん文化会館(鳥取市)

第13回日本蛋白質科学会年会が、2013年6月12日(水)より14日(金)までの3日間、鳥取市:とりぎん文化会館において開催されます。日本蛋白質科学会は、生命科学の時代と言われる21世紀初頭の2001年6月に設立され、第1回年会を大阪大学にて開催してそのスタートを切り、年1回日本各地で開催され、今年会で13回目となります。

蛋白質は、肉や牛乳、卵、大豆などに含まれている栄養物ということはよく知られていますが、それだけではなく、蛋白質はあらゆる生物の営み、生体内化学反応の担い手であり、これらの働きを生化学、生物物理学、分子生物学的に研究している学際領域が蛋白質科学です。日本蛋白質科学会の会員数は正会員と学生会員を合わせて約1100名で、年会には招待外国人も含めて毎年800名程度の参加があります。3日間に渡って行われる最新の研究トピックスに関するシンポジウムやワークショップ、ランチョンセミナー、ポスター発表を通して、蛋白質科学の立場から生命科学を総合的に解明することを目指して、最新の情報の交換と活発な討論を展開する場にしたいと考えております。

特に本年会においては、とりぎん文化会館施設の利点を生かし、シンポジウム、多くのワークショップやポスター発表と関連機器類・ソフトウェア・試薬・書籍等の展示会を隣接した同一フロアで同時進行させ、また、休憩・談話コーナーも設置して、国内外の大学、研究所、企業等の研究者や学生を中心とした年会参加者および展示出展者が快適な空間の中で情報交換ができるよう、準備計画いたしております。鳥取県内各地の観光情報の準備もしており、多くの県外の方々を迎えるこの機会を利用して、鳥取県の良さを最大にアピールできることも願っております。



会場/とりぎん文化会館